

令和2年度第5回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 令和3年3月17日（水） 午前10時から午前10時30分まで

場 所 日進市役所4階第2会議室

出 席 者 齊藤由里恵、浅見公彦、志水佳三、小芦圭吾、恒川孝司、岩佐智生、上田信子（敬称略）

欠 席 者 金澤敦史、三村剛（敬称略）

事 務 局 石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、山浦勝義（同課企画経営係長）、中根友樹（同課同係主事）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 6人

次 第 1 開会
2 あいさつ
3 議題 第3次日進市経営改革プランについて
4 答申
5 閉会

配 付 資 料 資料1 第3次日進市経営改革プラン（案）
資料2 第3次日進市経営改革プラン（案）に係るパブリックコメント実施結果について
資料3 第3次日進市経営改革プラン（案）の主な修正点について

発 言 者	内 容
事 務 局	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
会 長	議題「第3次日進市経営改革プラン」について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	（資料1～3に沿って説明）
会 長	委員の皆様から、順にご意見をいただきたいと思います。
委 員	パブリックコメントについて、ホームページ等で公開しているとの説明がありましたが、市民の皆様にはどれくらい知られているのでしょうか。また、今回パブリックコメントでいただいたご意見以外に、反響やご意見等はありませんか。
事 務 局	ホームページの他に、パブリックコメントを実施する旨の広報紙への掲載や、本プラン（案）を公共施設へ設置し閲覧できるようにするなど、市民へ広く周知するよう努めました。 パブリックコメント以外にご意見等はいただいておりません。
委 員	先ほど説明がありました通り、前回の委員会から数多くの修正がなされ、非常に見やすくなったと感じております。今後は、より多くの市民の皆様の本プラン

発 言 者	内 容
	<p>を知っていただけるように取り組んでいただきたいと思います。</p>
委 員	<p>資料3(2)行政改革推進委員会委員からの意見について、丁寧なご回答ありがとうございます。今後、各達成指標等について進捗管理を行っていくことと思いますので、その中でまた状況等について意見させていただきたいと思います。</p>
委 員	<p>パブリックコメントの意見を見ますと、市民参加をないがしろにしているのではないかと、受益者負担の観点から下水道使用料を上げることには反対である等、中々厳しい視点からの意見も出ているように感じました。これらのご意見は非常に貴重なものですので、難しい部分もあるとは思いますが、大事にさせていただけたらと思います。</p> <p>2点お願いします。本市のこれまでの行政改革に関する取組の流れを見ると、行政改革から経営改革という言葉に転換していますが何が違うのでしょうか。</p> <p>もう1点は取組項目についてです。限られた財源の中で、より良い市民サービスを提供するためにこの経営改革プランを策定するものですが、各視点を達成するための1つ1つの取組項目を見てみますと、取組としての大きさに差があるように感じました。これらが視点の達成にどうつながるのか見えづらく感じます。そもそも、これら29の取組項目はどのように選定されたのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>行政改革と経営改革の違いについては明確に定義しているわけではなく、明確な回答ではございませんが、行政経営を持続可能なものにしていくという意味が経営という言葉に入っているように思います。</p> <p>アクションプラン編における各取組項目の選定方法につきまして説明いたします。まず、ビジョン編の素案を策定し、本プランにおける視点や方針を全庁に共有しました。その後、各課から視点等に合う取組を提案してもらい、という形で進めました。そして、提案の内容を、企画政策課でビジョン等に照らし合わせながら確認し、最終的に絞り込まれたものが、現在本プランに上がっております29の取組項目となります。</p>
委 員	<p>プランの18、19ページについて、前回と比べてすごく分かりやすくなったと感じます。ビジョンから見た視点・方針とのつながりがより見えやすくなったと思います。</p>
委 員	<p>先ほど他の委員からご質問があった行政改革と経営改革の違いにつきまして、一般的な市町村レベルでは、これらの言葉はそれぞれの意味を包含して用いられているものと思います。行政経営改革という名目でプランを策定する自治体が多いことは事実だと思いますので、日進市におかれましても行政の経営というものについて考えていくということがひとつ非常に重要なことだと考えます。</p> <p>また、パブリックコメントを読ませていただく中で、ネガティブな意見が多く出ているように感じました。市民の感覚からすれば至極当然なものであると思いますが、日進市の企画その他が緩むものではないという強い信念をもってやっていく必要があるものだとも考えております。その視点から、行政改革推進委員会</p>

発 言 者	内 容
	でも、合理的か、市民のためになるか等の観点で、今回のパブリックコメントも受け止めた上で、今後ご意見を述べさせていただきたいと思います。
会 長	<p>パブリックコメントを実施いたしますと、他の案件でもそうかとは思いますが、肯定的な意見は中々出づらいうに思います。一般の企業でもそうかと思いますが、意見箱に入るような意見は厳しいものが多いという面があるかと思ひます。賛成だと思つてくださるような方の意見をどう拾い上げるかが今後重要と考えます。</p> <p>今回、貴重なご意見をパブリックコメントでいただいているところですが、市民目線と考えますと、自分事になるとより多くの意見が出てくるようになると思ひます。今後は、個々の取組項目を市民の皆様が自分事と考えられるのかどうか、その間の溝をどうやって埋めていくかが課題になっていくと感じたところでございます。本委員会では委員の皆様と議論したこと等が、机上の空論にならないように取り組んでいただきますよう、よろしくお祈ひします。</p> <p>それでは、他にご意見ご質問がなければ、委員の皆様へ事前にお配りしている内容で市長への答申を行いたいと思ひますが、よろしいでしょうか。</p>
	(異議なし)
会 長	本委員会から市長への答申に移りますので、事務局へ進行を戻します。
事 務 局	ありがとうございます。今後、誤字脱字や軽微な表現の修正等の作業が発生した場合、その確認は会長に一任いただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお祈ひいたします。
	4 答申
	(齊藤会長から石川総合政策部長(市長代理)に対し、答申書を朗読し手渡す)
会 長	<p>無事に答申を終えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、会議がオンラインを併用したハイブリッド形式のものや書面開催になるなど、様々な影響を受けた一年になりました。しかし、オンラインで会議を開催できるという実感を得ることができ、新しいステージに進んだ一年ともいえると思ひます。</p> <p>また、地域活動等の中止や規模の縮小等の影響を受け、人と人とのつながりを感じづらくなったことや、経済活動の落ち込みによる先行きの不安などもあるかと思ひます。</p> <p>今後は、プランにもありますとおり、持続可能な行財政経営や切れ目なくつながる地域経営など、つなぐということが非常に重要になっていくものと思ひます。事務局の皆様におかれましては、この計画が今後推進されていくよう取り組んでいただくとともに、本委員会では委員の皆様からいただく、応援のメッセージを含めた様々な意見を受け止めて今後も頑張つていただくようお祈ひします。</p>
	5 閉会